

そもそも、事務事業とは

Plan【事業概要】	
事業概要（事業の位置付け・目的）	
総合計画 体系	この事務事業が総合計画のどの分野に位置付けられているか表しています。
対象・目的	この事務事業は、誰（受益者等）を対象にして、どのような状態にするのかを表しています。
手段	目的の達成に向けて、行う手段（実施内容）を表しています。

IP27/P040

Do【事業費、事業実績(活動)】※

Do【争果賃、争果夫頼（活動）】※

168812分51秒

評価年度 所属 市費	平成29年度 0001053510 経営管理課総合管理係 0126 経済企画課	選択区分 1 次評価		
(成果計画)				
指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
第6次行政改革大綱の 移行プランの進展(以上 添入している割合)	%	目標を上回るとは評価していない 0.00	80.00 89.47	80.00 0.00
顧客満足度アンケート の結果の評価	%	0.00 0.00	88.00 87.95	88.00 0.00
(定性評価)				
カテゴリ	評価の観点	基準	ランク	
必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスをこなせていない 2 国・県・民間等のサービスは十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1	
効果性	内部の取組であり、他の事業主体が行うものではありません。 市民ニーズの有無	1 前年度ニーズは変化がある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1	
有効性	行務による経営資源の最適化が市民サービスの向上に繋がります。	1 目標を上回るとは評価しきれない 2 目標を下回るとは評価されている 3 目標は達成できている	1	
効率性	目標に対し、様々な課題に挑戦しています。	1 推進手法の検討や業務改善に取り組んで、具体的な成果を上げている 2 推進手法の検討や業務改善に取り組んでいる 3 推進手法の検討や業務改善に取り組めていない	1	
公平性	職員提案の採算性の見直しなど、事業費の削減に取り組んでいます。	1 環境変化や他自治体等と比較して適正でない 2 環境変化や他自治体等と比較して適正でない 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない	1	
持続可能性	他市も厳しい財政状況の中、行へへの取組を加減させています。			
(2次評価結果)				
事業の方向性	継続・継続			
1次コメント (400文字)	「持続可能で安定的な行政経営」を基本理念とした第6次行政改革大綱（平成29年度～33年度）で掲げた38の実行プランについては、今後、多くのプランでの市の方針決定や事業実施のステージに移るなど重要な局面を迎えることから、引き続き全力で取り組む必要があります。また、組織環境の改善に向けては、平成29年度に実施した組織アセスメントの結果を受け、平成30年度からの3か年を重点取組期間とした各課独自の組織環境改善の取組が効果的なものとなるよう事業に連携・協力を進めたいと考えています。このほか、要する指定管理者制度導入の検討では、サービス面、効率的な面から検討を進め、効果が見込める施設については導入に向けた調整を進めるなど、今後も積極的に行政改革に取り組んでいくことが必要です。			
(2次評価前後)				
事業の方向性	評価未実施			
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。			

CHECK & ACTION【評価と改善】

CHECK & ACTION【評価と改善】

Do【事業実績(成果)】※

Do【爭未夫賴（成未）】※

Check【事業評価】

Check【爭未評價】

※ 平成28年度分の決算額及び実績等については、平成28年度に実施した事務事業総点検(事務事業の統合・分割等)に伴い、評価に必要な項目等の見直しを実施したことにより、事務事業評価を休止したため、空欄となっております。